

ヤスハラケミカルは、人や環境にやさしい天然素材の原材料を活かした製品を開発・提供することはもとより、資源調達から製造、流通、販売まであらゆる企業活動において環境への配慮を行うことで、持続可能で豊かな環境づくりに貢献していきたいと考えています。

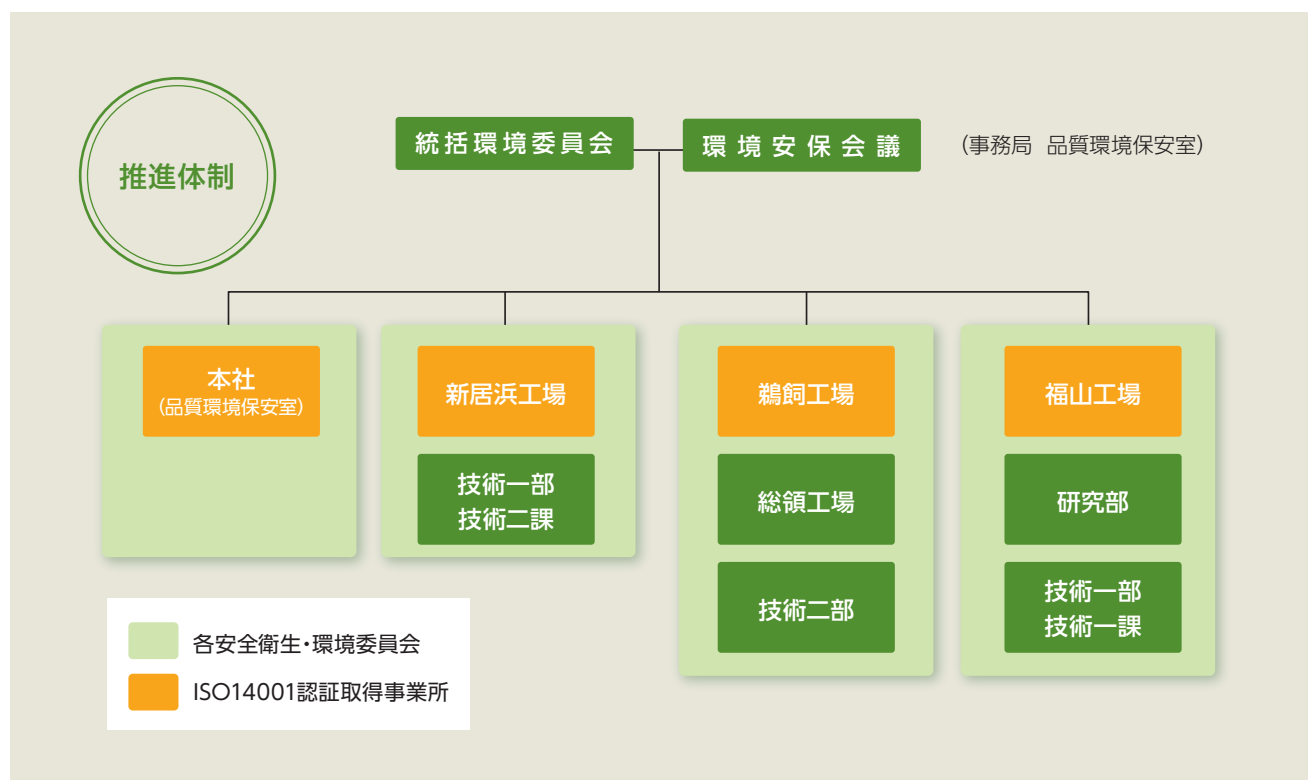
《 環境・安全に関する基本方針 》

- 1 天然物の有効活用による安全で環境負荷低減型製品の開発により、各産業分野における地球環境保護(省資源、リサイクル、健康有害物の排除など)の推進に貢献する製品を提供することで社会に貢献します。
- 2 製品の開発から廃棄に至るまでのライフサイクル全般にわたり、環境負荷の低減を図り、環境保護に努めます。
- 3 無事故・無災害の操業を継続し、従業員と地域社会の安全を確保します。
- 4 原料、製品の安全性を確認し、従業員、物流業者、顧客など関係する人々への健康障害を防止します。

全従業員は、この方針の重要性を認識し、法令、規格及び社内ルールを順守するとともに、常に改善に努力すること。

2006年5月2日

ヤスハラケミカル株式会社 代表取締役社長 安原 禎二



目標達成状況

2020年度の具体的目標と実績

ヤスハラケミカルでは、各工場での環境目標を数値設定、励行することで、事業活動全体における環境負荷の削減を推進しています。

環境活動の目標と実績				
活動テーマ	2020年度目標	2020年度実績	評価	2021年度目標
環境マネジメントシステム (EMS) の推進	EMS認証取得3工場の認証維持	EMS認証取得3工場の認証維持	○	EMS認証取得3工場の認証更新
省エネルギーの推進	エネルギー原単位前年度比1%削減	エネルギー原単位前年度比0.6%削減	×	エネルギー原単位前年度比1%削減
温室効果ガスの排出削減	CO2原単位前年度比1%削減	CO2原単位前年度比14%削減	○	CO2原単位前年度比1%削減
産業廃棄物の削減	産業廃棄物排出原単位削減	産業廃棄物排出原単位 7.4%増加	×	産業廃棄物排出原単位削減
	産業廃棄物排出量削減	産業廃棄物排出量 5.1%増加	×	産業廃棄物排出量削減
化学物質の適正管理	PRTR排出量削減	PRTR排出量 0.1%増加	×	PRTR排出量削減
	化学物質リスクアセスメント手法の見直し及び継続実施	見直した化学物質リスクアセスメントの運用開始及び継続実施	○	化学物質リスクアセスメントの継続実施
災害・事故	休業災害・事故ゼロ	休業災害・事故ゼロ	○	休業災害・事故ゼロ
環境・社会報告書発行	年1回発行	6月発行	○	年1回発行

○目標を達成 ×目標を達成できなかった

無災害記録証授与制度

当社は、2002年1月より当社独自の制度によって、安全意識の向上を目的に、規定の連続無災害日数を達成したグループに対して安全表彰を行ってまいりました。長年この制度を運用していく中で、いくつかのグループが、この制度の規定に基づく最長の連続無災害日数を達成したため、更なる安全啓発を図るべく、2018年1月より中央労働災害防止協会主催の中小企業無災害記録証授与制度を活用することにいたしました。その結果、鶴飼工場(従業員数44名)では、2020年10月16日に第1種記録(無災害記録日数800日)を樹立し、中央労働災害防止協会より記録証が授与されました。



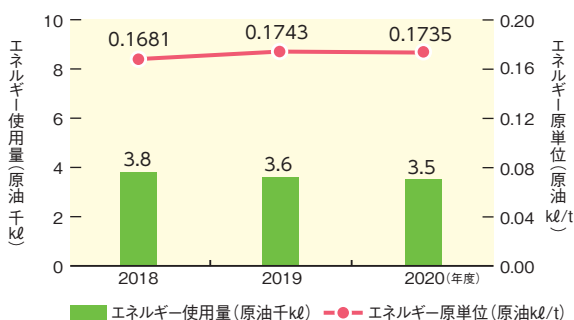
このたび800日連続無災害記録を達成することができ、第1種無災害記録証(努力賞)を受賞することができました。今後もこの賞を励みに労働災害の無い、安全で安心して働ける職場を目指し、全員一丸となって努力いたしますので、従業員皆様方のご協力よろしくお願いいたします。

鶴飼工場 工場長 藤田 耕三

事業活動における環境配慮への取り組み

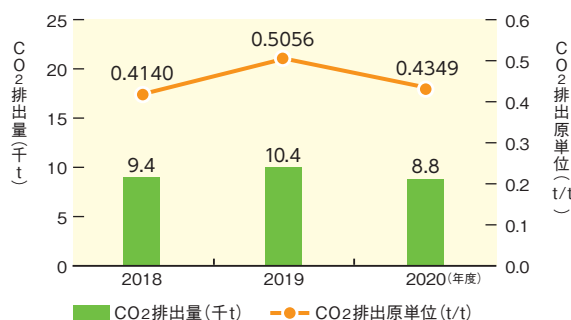
エネルギー使用量

2020年度のエネルギー原単位は、前年度比99.4%と横ばいで推移しました。引き続き省エネルギーに努めます。



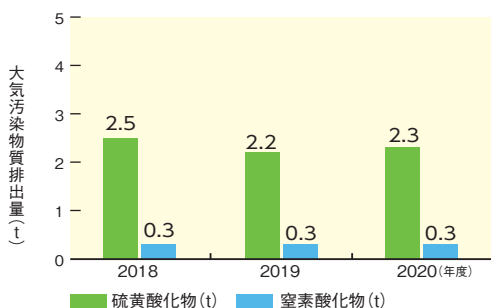
CO₂排出量

2020年度のCO₂排出原単位は、原料蒸留残渣の活用等による燃料使用量削減の継続などにより、前年度比14%減少しました。引き続きCO₂排出削減に努めます。



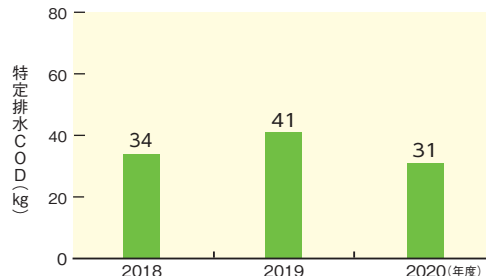
大気汚染物質の排出量

2020年度の硫黄酸化物排出量は、前年度比1.6%増と、横ばいで推移しました。引き続き大気汚染物質の排出削減に努めます。



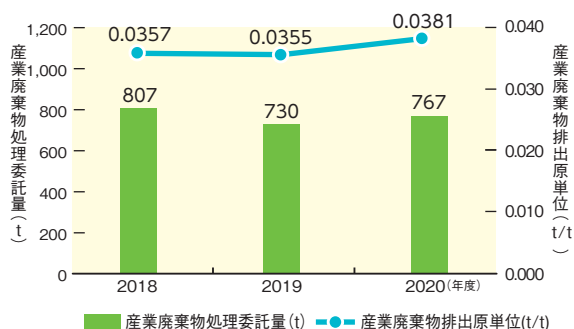
水質汚濁物質の排出量

2020年度のCOD負荷量は、生產品目の変動等により、前年度比24.4%減少しました。引き続き水質汚濁物質の排出削減に努めます。



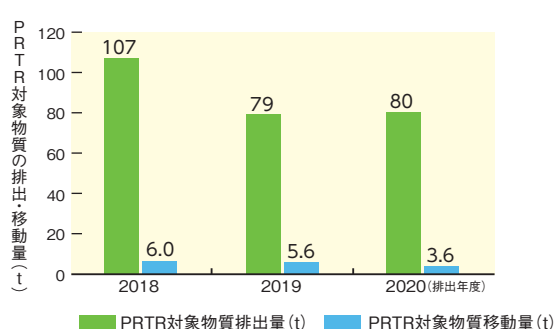
産業廃棄物処理委託量

2020年度は、生產品目変動等の影響により、産業廃棄物排出原単位は前年度比7.4%増加しました。引き続き産業削減、有価物への転換等に努めます。



PRTR対象物質の排出・移動量

2020年度のPRTR対象物質排出量は、前年度比0.1%増と、横ばいで推移しました。引き続きPRTR対象物質の排出・移動量の削減に努めます。

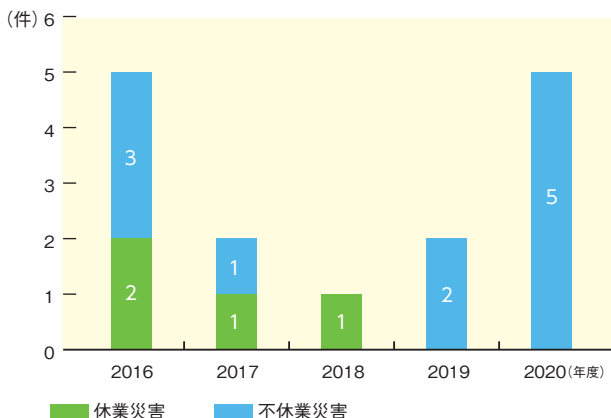




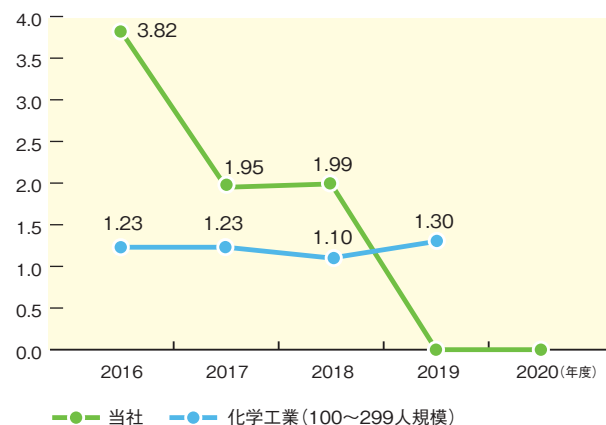
安全衛生への取り組み

ヤスハラケミカルは、安全を最優先に事業活動を行い、安全、健康そして快適な職場づくりに取り組んでいます。

労働災害発生件数の推移



休業災害度数率の推移



※度数率は、100万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生を頻度を表す。

$$\text{度数率} = \frac{\text{労働災害による死傷者数}}{\text{延べ実労働時間数}} \times 1,000,000$$

※出典：厚生労働省「労働災害動向調査」の「用語の解説」(6) 項アから引用

安全衛生・環境に関する資格の保有者数

当社では、安全衛生・環境に関わる必要な資格の積極的な取得に努めています。

法的に定められた選任者は充足していますが、新入社員をはじめとした若手従業員を中心に資格取得の推進を図り、スキルアップにつなげています。

資格名称	2020年度保有者数*(名)
公害防止管理者	22
エネルギー管理士	11
衛生管理者	26
特別管理産業廃棄物管理責任者	9
ボイラー技士・整備士・溶接士	52
危険物取扱者	181
消防設備士	28
高圧ガス製造保安責任者	70

※延べ人数



COLUMN

本社防災訓練

工場はもちろんのこと、当社においても防災訓練を行い、有事の際に迅速かつ適切な対応がとれるようにしております。

発災現場や自衛消防隊の行動等についてシナリオを想定し、通報訓練、消火訓練、避難訓練を行いました。

有事はないにこしたことはないですが、今後も防災訓練を積み重ね、いざという時に落ち着いた行動ができるよう、万全な体制を構築していきたいと思っています。

